

こんにちは。院長の大藪真理子です。

私は父親が歯科医師で、親の歯科医院の手伝いをする機会があり、自然と医療の世界にあこがれ、医学部に進学しました。大学卒業後の進路を決める頃に、母親が骨盤臓器脱の症状で、人に言えず悩んでいたことの相談にのる機会があり、泌尿器科を専門に選びました。泌尿器科の世界は、前立腺肥大症や排尿障害といった内科的な診断をする領域から、悪性疾患の手術といった外科的な領域まで幅広く、とても楽しく一步一步学びながら仕事をしてきました。その中で人は何故それぞれの病気になるのかという疑問をもつようになりました。東洋医学には、人間の体中には気というエネルギーが流れていて、そのエネルギーの流れが不調和になると「気が病み」、結果としてその部分に「病気」が生じるという考え方があります。このような西洋医学とは一歩違った視点で身体をとらえる東洋医学の診療に興味を持ち、漢方診療を学び始めました。

私は「気軽に相談できる窓口になること」や「身体のことを知ってもらうために情報を伝えること」がしたいと思い、開業を決意しました。頻尿、尿漏れ、膀胱炎・・・これらは誰にでも起こる身近な悩みです。しかしデリケートな話の為、「誰にも話せない」や「病院に行きにくい」という方が沢山いらっしゃいます。このクリニックでは、ちょっとしたときに気軽に相談できる窓口になりたいと思っています。また、漢方診療はちょっとした体調不良に大変効果を発揮します。疲れやすい、風邪をひきやすいなど、ちょっとした身体のサインに早めに対応することで、もともと身体が持っていた自然治癒力を高めて、自然な回復を促すことができます。ちょっと不調で困ったなという時にお役立ていただければと思っています。

趣味は絵を描くことと、本を読むことです。小学校・中学校のころは油絵など描いていました。今はなかなか時間がとれず油絵は描けていませんが、人は年とともに少年少女時代の趣味に戻っていくと聞きますので、またいつか再開するだろうと楽しみにしています。最近樹木希林さんの本を読み、彼女の根底にある自由な考え方が素敵だと思いました。娘がいて、彼女から日々の生活の中で楽しむことの大切さを教えてもらっています。ときにヨガや瞑想を通して自分を発見しています。

こんな私ですが、なにか皆様のお役に立てることが出来れば幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

